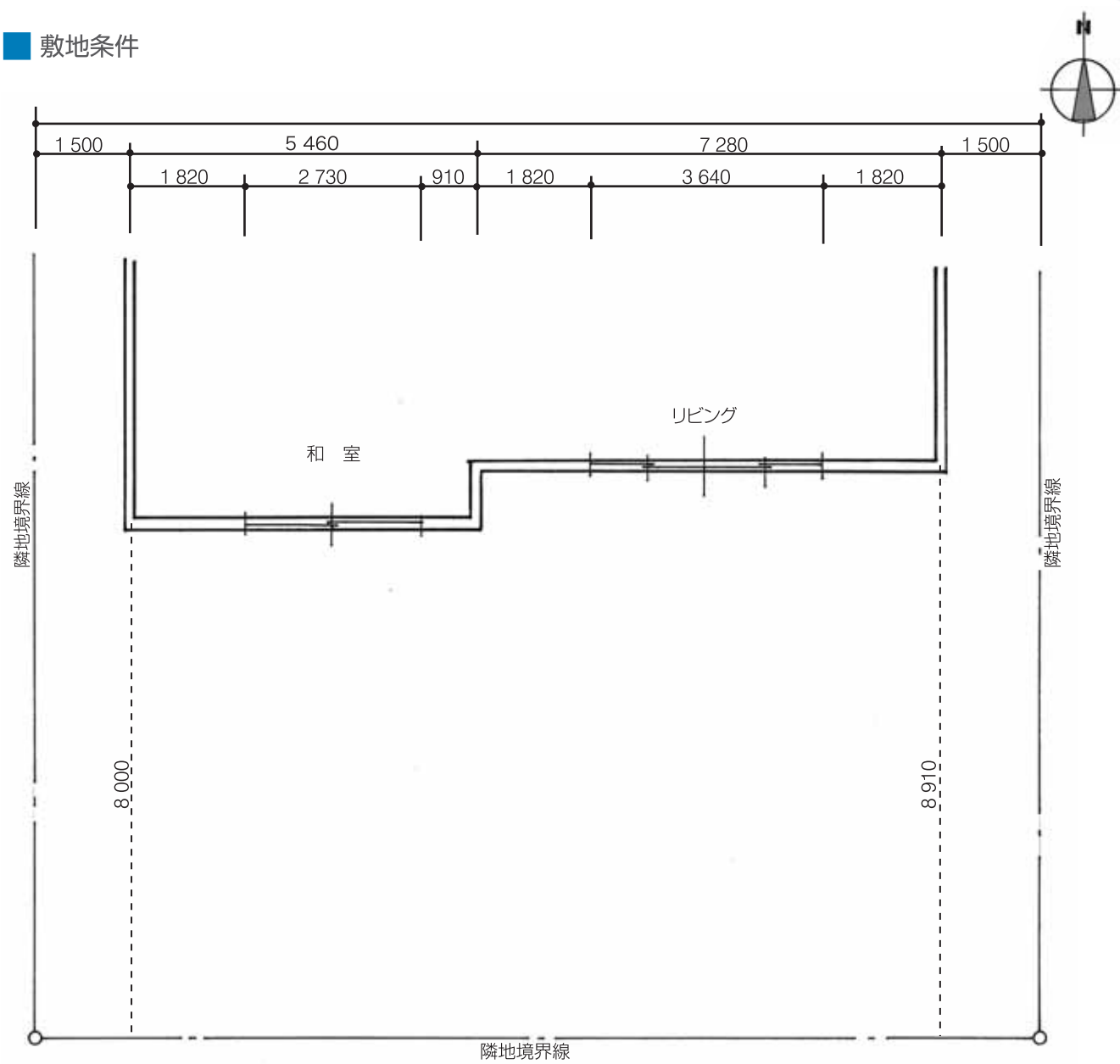


第8回目の課題について

それでは今回の新しい課題をご覧ください。
今回はメインガーデンのデザインを考えていただきます。
敷地は下記の通りで、北入り敷地なので南側のこのスペースはすべて庭として利用することが可能です。

下記の施主の要望をふまえて、ゾーニング図・平面図・立面図（可能であればパース図）を作成し、次号の模範プランと比較できるように準備しておいてください。

敷地条件



施主の要望

- リビングの前に、大人6人程度が利用できる少し大きめのウッドデッキを提案してください。
- 東側の隣地に平屋の倉庫があるので、ウッドデッキから見えないように目隠しを考えてください。
- 和室の前は濡れ縁と沓脱ぎ石を希望しますが、本格的な和風庭園にする必要はありません。
- 大勢でガーデンパーティーをすることもあるので、ウッドデッキとは別に自然石のテラスなどを提案してください。
- 和室の前は植栽を中心とした『眺める庭』。リビング前はテーブルやイスが置ける『使う庭』を希望します。

「私ならこう考える！ゾーニング手順と計画時のポイント」

今回も私がプランニングする際に、どのような事を考えているのかその一部をご紹介します。
プランニングの参考にしてみてください。

ガーデンプランの考え方

まずガーデンのプランを考える（イメージする）ときは、前ページの課題解説のように、建物を上にして平面図を見るよりも180度回転させて建物を手前にして、部屋の中から庭のスペースを眺めているように図面を置いた方がイメージしやすくなります。（下図参照）

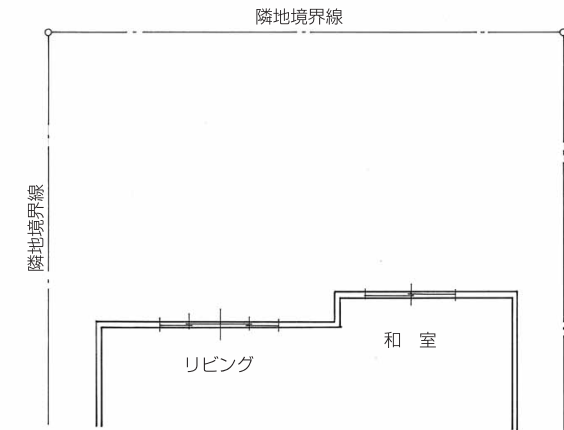


図-1 ガーデンのプランは建物を手前にして考える

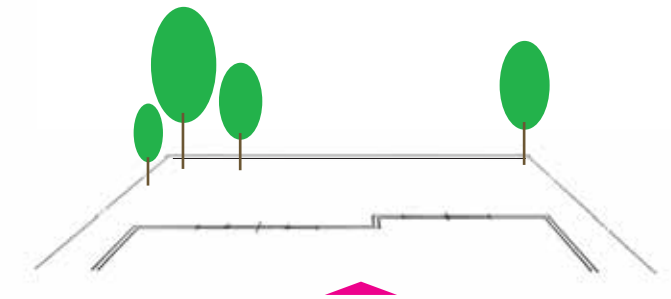


図-2 更に図面を横から眺めると空間をイメージしやすくなる

そして施主の要望を考慮しながらゾーニングに入ります。このときあまり細かい事を考えるよりも、全体のバランスをみながら動線も考慮しつつ考えることがポイントとなります。設計条件であるウッドデッキ・テラス・濡れ縁を単純にレイアウトすると、図-3のようなレイアウトが考えられますが、これでは全体に硬くつまらないものとなってしまいます。そこで、ウッドデッキを变形させたり、濡れ縁とつなげるなど工夫をして、リズム感と奥行きのあるガーデンデザインを考えてみましょう。

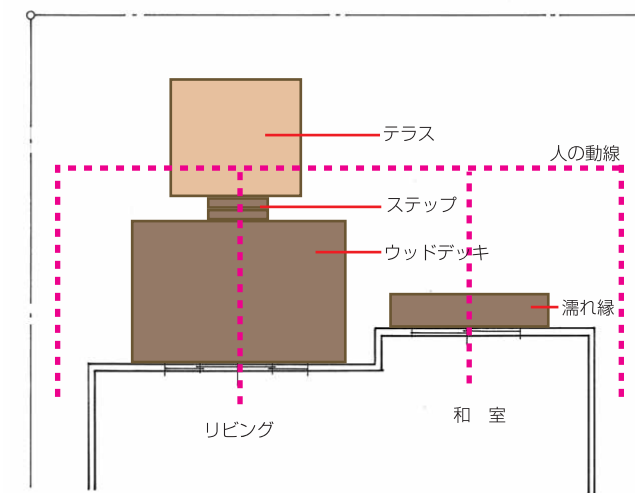


図-3 要素をただ並べただけのレイアウト

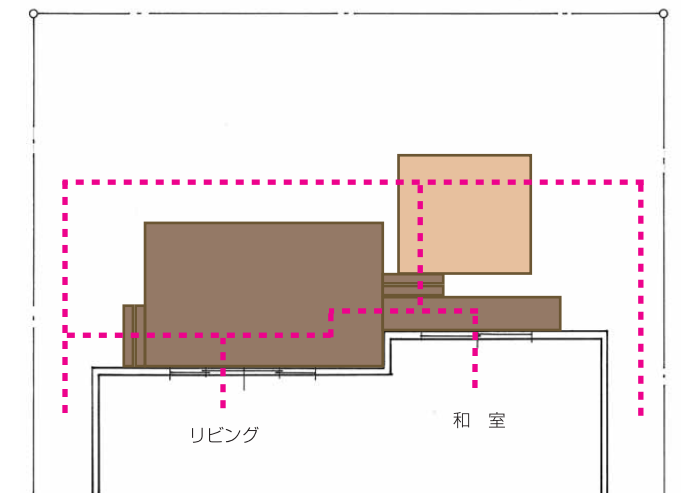


図-4 少しレイアウトを変えるだけでリズムが生まれる

模範解答は次号で掲載、解説しますので、以上のことをふまえて素敵なプランを考えてみてください。